

# 2019年度 京都文教大学 京都文教短期大学

教育、心理、社会、福祉…  
本学の特色のある  
幅広いテーマで  
教育力を高める  
講座を開講!

## 教員免許状更新講習 秋期募集のご案内

予約受付期間

2019年9月8日(日)～9月10日(火)〈先着順〉

Webサイトからお申し込みください▶ <http://www.kbu.ac.jp/kbu/koshin/>

〈問い合わせ先〉 京都文教大学 教員免許状更新講習係

〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足80 TEL:0774-25-2433 FAX:0774-25-2822 e-mail:koshin-kbg@po.kbu.ac.jp  
受付時間:月～金 9:00～17:00 (土・日・祝日および大学で定める業務休止日は窓口業務を行っておりません)



# 2019年度 京都文教大学・京都文教短期大学 教員免許状更新講習のご案内

## ごあいさつ

2007年6月の教育職員免許法改正により、2009年度から教員免許更新制が新しく導入されました。

この制度を受け、京都文教大学・京都文教短期大学では「必修領域」「選択必修領域」「選択領域」の3領域について講習を実施いたします。本学の特色ある研究・教育活動の成果を活かした講習を通して、皆さまの知見を深めていただけることを願っております。

皆さまの受講をお待ちしております。

京都文教大学

京都文教短期大学

## アクセス 京都文教大学・京都文教短期大学 宇治キャンパス

〈問い合わせ先〉

京都文教大学 教員免許状更新講習係

〒611-0041 京都府宇治市榎島町千足80

TEL: 0774-25-2433 FAX: 0774-25-2822

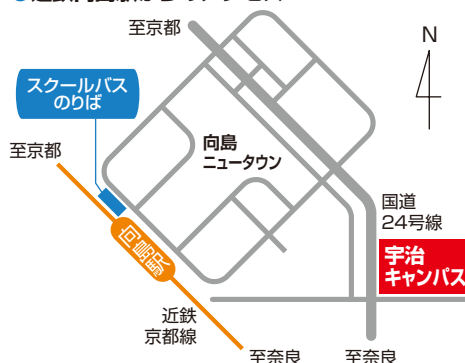
e-mail: koshin-kbg@po.kbu.ac.jp

http://www.kbu.ac.jp/kbu/koshin/

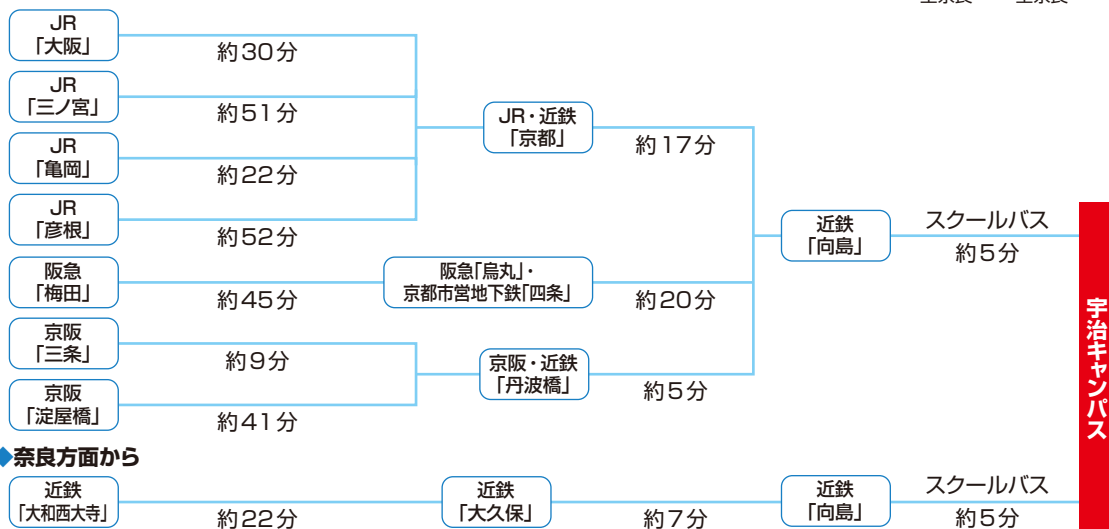
受付時間: 月~金 9:00~17:00

(土・日・祝日および大学で定める業務休止日は窓口業務を行っておりません)

### ●近鉄向島駅からのアクセス



### ◆大阪・神戸・京都・滋賀方面から



### ◆奈良方面から

※近鉄京都線は京都市営地下鉄に乗り入れしています。 ※近鉄「向島」駅から本学のスクールバスが往復で運行しています。

# 教員免許状更新講習一覽

●講習はすべて宇治キャンパスで実施します。

## ●必修領域 全ての受講者が受講する領域

非 開 講

## ●選択必修領域 受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習No.	講習の期間	講習の名称	対象職種	主な受講対象者	担当教員	定員
SH11	2019年 11月16日(土)	【選択必修】 地域資源を活用した学校、 家庭及び地域の連携	特定しない	幼稚園・小学校・ 特別支援学校教諭	岡本 淨実	40人
SH12	2019年 11月30日(土)	【選択必修】 多文化共生社会と教育	特定しない	幼稚園・小学校・ 中学校・高等学校・ 特別支援学校教諭	杉本 星子 平野 知見 山本 晃輔	80人

## ●選択領域 受講者が任意に選択して受講する領域

講習No.	講習の期間	講習の名称	対象職種	主な受講対象者	担当教員	定員
S21	2019年 10月19日(土)	【選択】文化の継承を考える —宇治の文学と鵜飼を手掛かりに—	教諭	幼稚園・小学校・中学校・ 高等学校教諭	千古 利恵子	50人
S22	2019年 10月19日(土)	【選択】子どもの表現活動を導く 音あそび	教諭	幼稚園教諭	岩佐 明子	30人
S23	2019年 11月2日(土)	【選択】「子どものこころ」を育む関わり	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校教諭、 養護教諭	柴田 長生 堀内 詩子	30人
S24	2019年 11月16日(土)	【選択】絵本、再発見	教諭	幼稚園・ 小学校(低学年)教諭	三林 真弓	24人
S25	2019年 11月30日(土)	【選択】NIE・新聞活用講座	教諭	小学校・中学校教諭	橋本 祥夫	36人

※【必修】領域および【選択必修】領域については、どのような免許状を持っている場合でも、それぞれの領域で開設されている講習の中からそれぞれ6時間以上を満たすよう講習を受講してください(2019年度<秋期>は、本学での【必修】領域の開設はありません。)

【選択】領域については、新免許状(平成21年4月1日以降に初めて授与された免許状)と旧免許状(平成21年3月31日以前に授与された免許状)の場合で扱いが異なりますので、文部科学省HP等で各自でご確認ください。

※同一講習を複数回受講することはできません。夏期及び昨年度と同名の講習および下記の講習は原則同一内容となりますので、履修証明書で履修済みの講習をご確認の上お申し込みください。

\*講習名称を変更(内容は原則同一)

2018年度<夏期><秋期>「【選択】宇治の文化と文学」⇒2019年度<秋期>「【選択】文化の継承を考える—宇治の文学と鵜飼を手掛かりに—」

# 受講申込から履修認定までの流れ①

受講申込は全て先着順で受け付けます。下記の流れに沿って、Webからお申し込みください。

※電話でのお申し込みは受け付けておりませんのでご了承ください。

## 注意事項

- 先着順の受け付けとなりますので、特に受け付け初日は大変混雑いたします。
- 他の受講希望者のご迷惑となりますので、受講の意志が不確定な段階での仮押さえや、受講が必要な講習数以上の大量予約はおやめください。
- 予約受付期間終了後の辞退はおひかえください。学校行事等やむを得ない事情で受講を辞退される場合には、必ずお電話にてご連絡ください。
- 受講料の納入や書類の返送等の期限は厳守してください。やむを得ない事情で期限に遅れる場合には、必ずお電話にてご連絡ください。

## Webから

### 1 利用者登録

〈登録期間〉8月1日(木)～9月10日(火)

〈URL〉<http://www.kbu.ac.jp/kbu/koshin/>

京都文教大学・京都文教短期大学のホームページから教員免許状更新講習サイトに入り、「更新講習システム」にお入りください。

新規に利用者の登録を行い、IDを取得してください。

→詳しい登録方法は「Webから 利用者登録(個人情報の登録)方法」をご覧ください。

※今年度夏期にIDを取得された方は、同じIDをそのままお使いいただけます。



### 2 講習予約

〈受付期間〉9月8日(日)7:00～9月10日(火)24:00

〈URL〉<http://www.kbu.ac.jp/kbu/koshin/>

1. で取得したIDとパスワードを使ってログインし、講習ごとに予約を行ってください。

→詳しい予約方法は「Webから 講習予約の方法」をご覧ください。

※講習はすべて先着順で受け付けします。

※受講のキャンセルは、予約申込期間内はWebから可能ですが、受講のご意向が不確定な段階での仮押さえやキャンセル前提の予約はご遠慮ください。

※予約受付期間後の辞退はおひかえください。やむを得ない事情で辞退される場合は、必ずお電話にてご連絡ください。



# 受講申込から履修認定までの流れ②



**3 受講者登録票等受領** 9月17日頃、本学よりご登録いただいたご住所宛に発送します。  
①受講者登録票 ②受講対象者証明書 ③受講料振込依頼書 ④事前アンケート など



**4 受講料の振り込み** 10月2日(水)納入期限  
本学から送付する振込依頼書に記載された銀行口座へ受講料をお振り込みください。  
※やむを得ない事情で受講を辞退される場合は、必ずお電話にてご連絡ください。



**5 書類の送付** 10月2日(水)締切(本学必着)  
①受講者登録票 ②受講対象者証明書  
③受講料納付書 ④事前アンケート  
※やむを得ない事情で受講を辞退される場合は、必ずお電話にてご連絡ください。



**6 受講案内および受講票等の受領** 10月10日頃、本学より発送します。  
受講案内および受講票等の書類を送付します。



**7 講習受講** 10月19日(土)～11月30日(土)  
講習当日は、必ず受講票を持参してください。



**8 履修証明書受領** 12月20日(金)までに、本学より発送します。  
各講習終了時の修了認定試験の結果により、履修が認定された講習の履修証明書を送付します。  
※秋期のすべての講習終了後、まとめて発送します。  
※免許更新の手続きに関するお問い合わせは、勤務地の都道府県教育委員会(現職教員以外の方は、住所地の都道府県教育委員会)へお願いいたします。

## ①利用申し込み



画面左側の【利用者登録】をクリックしてください。

## ②利用規約・個人情報取扱内容の確認



画面の利用規約および個人情報保護について内容を確認し、同意いただける場合、【同意する】をクリックしてください。

## ③受講者情報登録



必須項目(\*のついた項目)の入力をしてください。ここで入力されたパスワードは、本システムへログインする際に必要となりますので、忘れないようにしてください。

## ④登録情報の確認



入力が完了したら【確認】ボタンを押してください。エラーが出た場合は、エラー内容が表示されますので修正をしてください。エラーがない場合は、登録情報の確認画面に移ります。内容に間違いがなければ【登録】ボタンを押してください。

## ⑤登録完了



ログインに必要な受講者IDが発行されます。今後ログインする際に必要となりますので、必ず控えてください。  
また、受講者登録完了のメールが送信されます。

# Webから 講習予約の方法

## ① ログイン



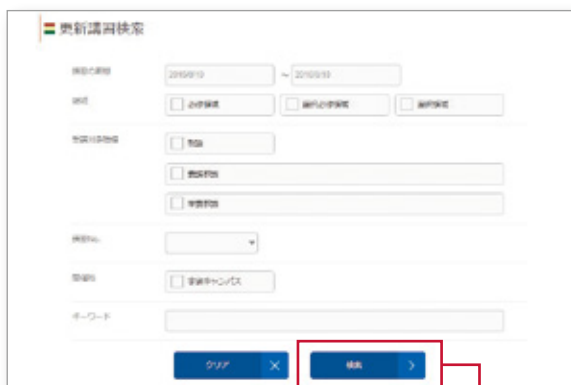
画面中央の欄に受講者ID、パスワードを入力し、【ログイン】をクリックしてください。

## ② 講習の検索



【講習検索ページへ】をクリックして、講習検索画面に移動してください。

## ③ 検索条件入力



講習を指定せずにすべて表示する場合は、なにも入力せずに【検索】ボタンをクリックしてください。

## ④ 検索結果一覧



検索結果が表示されますので、予約をしたい講習の【講習予約受付中】をクリックしてください。

## ⑤ 予約



画面右下にある【予約する】をクリックしてください。

## ⑥ 予約の登録



お申込される講習に間違いがなければ、【登録】をクリックしてください。受講申込規約の確認後、【同意する】をクリックすると予約が完了します。複数の講習を予約される場合は、この流れを繰り返してください。

## ⑦ 予約完了



予約が完了すると、予約完了画面が表示されます。また、予約完了のメールが送信されます。なお、予約済みの講習の一覧はマイページで確認できます。

講習No.  
**SH11**  
選択必修

## 【選択必修】地域資源を活用した学校、 家庭及び地域の連携

講習の開催地  
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年11月16日(土)** 受講料 **6,000円** 対象職種 **特定しない**

定員	時間数	試験方法	担当講師
40人	6時間	筆記試験	

主な受講対象者 幼稚園・小学校・特別支援学校教諭

**講習の概要** 本講習では、学校、家庭及び地域の連携及び協働を取り上げる。講義では、現代社会と近年の学校を取り巻く状況の変化及び各地での地域連携の実践事例を解説する。また、「資源」をキーワードに市民・行政・学校と連携した1実践から地域と連携及び協働を考える。演習では、素材・資源のアレンジや円形のシートを用いたグループワークを体験する。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:00(80分)	3限 13:00~14:30(90分)	4限 14:40~15:50(70分)	5限 16:00~16:30(30分)
<b>地域資源・素材を活用する</b> 集団活動の導入としてアイスブレイクを体験する。また、地域資源・素材をアレンジし活用する視点から日常にある様々な道具を使って「半分できて半分できない」をキーワードに演習を行なう。	<b>多様な参加を考える</b> ニュースポーツ(ベタボード)を体験する。また、ニュースポーツ(ベタボード)を活用し、多様な参加者を想定した関わりづくりについて演習を行う。	<b>家庭・地域の協働および実践の事例から</b> 健康・街づくり・学校・子育て支援等のキーワードから家庭・地域の協働及び実践事例を解説する。	<b>“えんたくん”を用いたグループワーク</b> 地域資源の活用や地域との連携には、情報交換が重要である。円形のシート“えんたくん”を活用したグループワークを体験する。グループワークのテーマ(つなぐ、再生、地域資源、情報共有など)から意見を出し合う方法を学ぶ。	修了認定試験

**備考** 本講習は1・2限目体育館にて演習を行います。  
体育館シューズをご持参のうえ動きやすい服装(パンツスタイル)でお越しください。

講習No.  
**SH12**  
選択必修

## 【選択必修】多文化共生社会と教育

講習の開催地  
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年11月30日(土)** 受講料 **6,000円** 対象職種 **特定しない**

定員	時間数	試験方法	担当講師
80人	6時間	筆記試験	

主な受講対象者 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭

**講習の概要** グローバル化が進み外国人労働者が増加する中で、園・学校では外国籍の幼児・児童・生徒への対応が求められている。文化的差異を認め合い対等な関係を築きながら、地域社会で共に生きる多文化共生の地域づくりを推進するためには、学校教育における理念の理解が必須である。本科目では、多文化共生を専門とする3人の教員がオムニバス方式で講義し、学校教育、就学前教育、地域社会という3つの視点から多文化共生の在り方を考えていく。

1限 9:00~10:40(90分)	2限 10:50~12:20(90分)	3限 13:20~14:50(90分)	4限 15:00~16:00(60分)	5限 16:10~16:40(30分)
<b>多文化共生社会の現状と教育現場</b> 日本に暮らす外国人が増加し、その国籍も多様になっている。幼稚園や学校には、外国にルーツのある児童の教育とともに、たとえ国籍や文化が異なっても、誰もが暮らす地域住民の一員として活躍できる多文化共生の地域づくりの拠点となることを期待されている。そうした教育現場における取り組みと課題について考える。	<b>これからの多文化共生保育に求められること</b> 現在、外国にルーツのある子どもや保護者をとりまく課題は多様化している。そのような状況の中、母語が確立しないまま日本文化になじむうちに親子関係に距離ができてしまった子どもも存在する。多様化する子どもの背景や保護者の事例を取り上げながら、今後の多文化共生保育のあり方について考えていく。	<b>多文化共生時代の国際理解教育</b> グローバル化が進むなかで子どもの国際移動が増加し、外国にルーツをもつ子どもたちを受け入れる教育現場では、多くの場合それを課題と受けとめ対応に苦慮せざるを得ない状況にある。しかしそこは同時に、国際理解教育の原点である「世界と日本をつなげ、子どもたちの主体的な学びを引き出す」教育の現場でもある。多文化共生の教室が、外国にルーツのある子どもたちとともに育つ日本語者の子どものためにどうしたらよいか、改めて国際理解教育という視点から考えてみたい。	<b>グループでの振り返りと教育現場における状況の情報交換</b> 1限～3限の講習内容を振り返り、さらに受講生がこれまで各学校で実践した内容や経験した事例等について、情報交換をしてグループの中で共有する。そして、これからの時代に多文化共生社会を築くために教育現場に必要なことについてディスカッションをして、考えを深める。	修了認定試験



講習No.  
S21  
選択

## 【選択】文化の継承を考える —宇治の文学と鵜飼を手掛かりに—

講習の開催地  
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年10月19日(土)** 受講料 **6,000円** 対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	

千古 利恵子(京都文教短期大学幼児教育学科教授)

主な受講対象者 幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭

**講習の概要** 我が国の伝統や文化を尊重する心を育成するためには、教員自身が日本の伝統や文化について関心を深めることが重要である。本講習では、宇治の風景・人々の暮らしを伝える資料や文学作品などを鑑賞しながら、日本文化の昔と今を検証し、「次世代に伝える文化」について考える。なお、伝統文化継承の今日的課題を明らかにするために、宇治の伝統文化の一つ「鵜飼」を取り上げる。課題提示にあたり、ゲストスピーカーに鵜匠を迎え、鵜飼の現状を知る時間を設ける。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:10(90分)	3限 13:10~14:40(90分)	4限 14:50~16:20(90分)
<b>宇治の昔と今</b> <b>—文学に描かれた宇治—</b> 古典文学には、宇治を舞台にした出来事や風景が描かれている。その中から代表的な作品を選び鑑賞することを通して、宇治の地の昔と今を比べる。	<b>伝統文化の継承</b> <b>—宇治川の鵜匠を招いて—</b> 伝統文化の継承は、学校教育においても重んじられている。今回は、宇治の文化継承者である鵜匠の話をもつて、「伝えたい文化とは何か」「継承にはどのような課題があるのか」を検証する。	<b>伝統文化と人々の暮らし</b> 時代を問わず、人々の暮らしは生活する土地の文化と深くかかわり、影響を受けるのだろう。世界遺産の保存という社会的使命を担う宇治が、現在宇治に住む人の暮らしに影響をあたえているのか、考えてみる。	<b>まとめと修了認定試験</b>

**備考** 2018年度<夏期><秋期>「【選択】宇治の文化と文学」と、原則同一内容です。

講習No.  
S22  
選択

## 【選択】子どもの表現活動を導く 音あそび

講習の開催地  
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年10月19日(土)** 受講料 **6,000円** 対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
30人	6時間	筆記試験	

岩佐 明子(京都文教短期大学幼児教育学科講師)

主な受講対象者 幼稚園教諭

**講習の概要** 本講習では、子どもの音に対する感性を育み、音楽的な表現活動を援助する方法について学びます。具体的には、鍵盤楽器を用いた伴奏法や、グループワークで音あそび・楽器あそびなどを実践し展開方法を考察します。受講者自ら音楽の楽しさや喜びを体験することも目的としています。

1限 9:00~10:00(60分)	2限 10:10~11:50(100分)	3限 12:50~13:50(60分)	4限 14:00~15:40(100分)	5限 15:50~16:30(40分)
<b>子どもの音楽的な表現活動</b> 子どもの音楽的な表現活動(「うたう」、「さく」、「ひく」、「うごく」、「つくる」)を、年齢による身体的成長・心理的発達をととして学びます。	<b>子どもの歌の伴奏法</b> 子どもの歌を用いて、それぞれの演奏力に応じた伴奏法を学びます。コードネームを基礎から学び、伴奏形のヴァリエーションを知ることで、状況に応じて即興的に演奏できる力を養います。	<b>子どもと音あそび</b> 様々な音あそびの実践をとおり、音に対する感性、リズム感、ビート感などを養います。	<b>子どもと楽器あそび</b> 保育・教育現場で使用されている楽器の特性を知り、楽器あそびの展開方法を考えます。器楽合奏における効果的な編曲法も学びます。	<b>修了認定試験</b>

講習No.  
**S23**  
選択

## 【選択】「子どものこころ」を育む関わり

講習の開催地  
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年11月2日(土)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭、養護教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
30人	6時間	筆記試験	

柴田 長生(臨床心理学部教育福祉心理学科教授)  
堀内 詩子(臨床心理学部教育福祉心理学科講師)

主な受講対象者 幼稚園・小学校教諭、養護教諭

### 講習の概要

子どもは、こころの内側にそれぞれの「生きたイメージ世界」を持ちながら、外の世界を感じ、外在する大人や友人達との関係を形成していきます。教師はそのような子どもの成長を育みますが、教師自身への気づき(自己覚知)が、子どもを育む上で大きく影響します。本講習では、音楽療法や絵画療法の手法を用いながら、「子どもを育む関わり」と「養育者自身への気づき」のうち・そとについて、リレーワークショップ形式で学びます。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:30(40分)
<b>育む関わり：子どもと外とのつながり</b> 外の世界を感じる、人とつながるといふ、それぞれの子どものコミュニケーション特性が、大人や友達とのつながり方に影響を与えます。音楽療法の手法をヒントに「個を見つめること」「二者関係の形を感じていくこと」を通して、保育や学校現場で子どもを見つめていく手がかりを探ります。	<b>育む側の気づき：教師自身の関与特性に気づく</b> 子どもを育む教師もいろんなコミュニケーション特性を持っており、外の世界を受け止める場合に、それらが様々な形で影響します。集団で絵を描く「回し絵」を実習しながら、教師自身の外界への関与の仕方の特徴に気づきます。	<b>育む関わり：イメージを広げること</b> 子どもにとってイメージの世界はとても大切です。「イメージ遊び」を通して、子どもは内なるイメージ世界の中に豊かに生き、現実世界の表現を柔軟にさせる力を育てていきます。リトミックや音楽療法の中で取り入れられるイメージの世界の大切さを、講義と演習を通して学びます。	<b>育む側の気づき：大人の中に存在する子どもイメージ</b> 子どものイメージを受け止めるには、教師側の「子どものセンス」への気づきが必要です。大人のこころの中にも存在する「自らの子ども像」を描くことで、教師自身の「子どものイメージ」の湧出を試み、それへの気づきを通して、実際の子どもの受け止め方を豊かにします。	<b>修了認定試験</b>

講習No.  
**S24**  
選択

## 【選択】絵本、再発見

講習の開催地  
宇治キャンパス

講習の期間 **2019年11月16日(土)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
24人	6時間	筆記試験	

三林 真弓(臨床心理学部臨床心理学科教授)

主な受講対象者 幼稚園・小学校(低学年)教諭

### 講習の概要

子どもに関わる媒体として、絵本はとても身近なものでしょう。講習では、一方的な読み手から解放され、改めて絵本の魅力を再発見できる機会を提供したいと思います。臨床心理学的な視点を通して、いろいろな角度から教育現場での絵本の効果的な活用法に迫ります。読み聞かせの実践も行います(幼稚園・小学校低学年向け)。日頃から絵本が好きな方、絵本についてディスカッションをしたい方にご参加いただきたく思います。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:00(80分)	3限 13:00~14:40(100分)	4限 14:50~16:20(90分)
<b>絵とストーリーが生まれる源泉を知る</b> 描画法のひとつであるスクイグルを体験し、創造する(想像する)力を養う。	<b>絵本について知識を深める</b> 絵本について大脳生理学的・臨床心理学的な観点からレクチャーを行う。絵本作家がどのような意図で絵本を作っているかを理解し、特に読み聞かせをしてもらう子どもがどのように絵本をみているのかについて理解を深める。	<b>絵本の読み聞かせの実践</b> 学内の図書館に移動し、絵本を選書する。2人ないしは3人で絵本の読み聞かせの実践を行う。読み聞かせをしてもらう側の立場に立つことで、普段気づいていないことに気づくこと、さらに読み聞かせを受講者同士で行うことで、普段の読み聞かせの良さあるいは癖などに気づくことを目的とする。	<b>全体の振り返りと修了認定試験</b> 全体を振り返っての質疑応答を行い、本日の講習を踏まえた論述式の筆記試験を受ける。

### 備考

「お気に入りの絵本」「受講者の皆さんに是非紹介したい絵本」がありましたら、ご持参ください。あれば、で結構です。

講習No.  
**S25**  
選択

## 【選択】NIE・新聞活用講座

講習の開催地

宇治キャンパス

講習の期間 **2019年11月30日(土)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
36人	6時間	筆記試験	橋本 祥夫(臨床心理学部教育福祉心理学科准教授)

主な受講対象者 小学校・中学校教諭

### 講習の概要

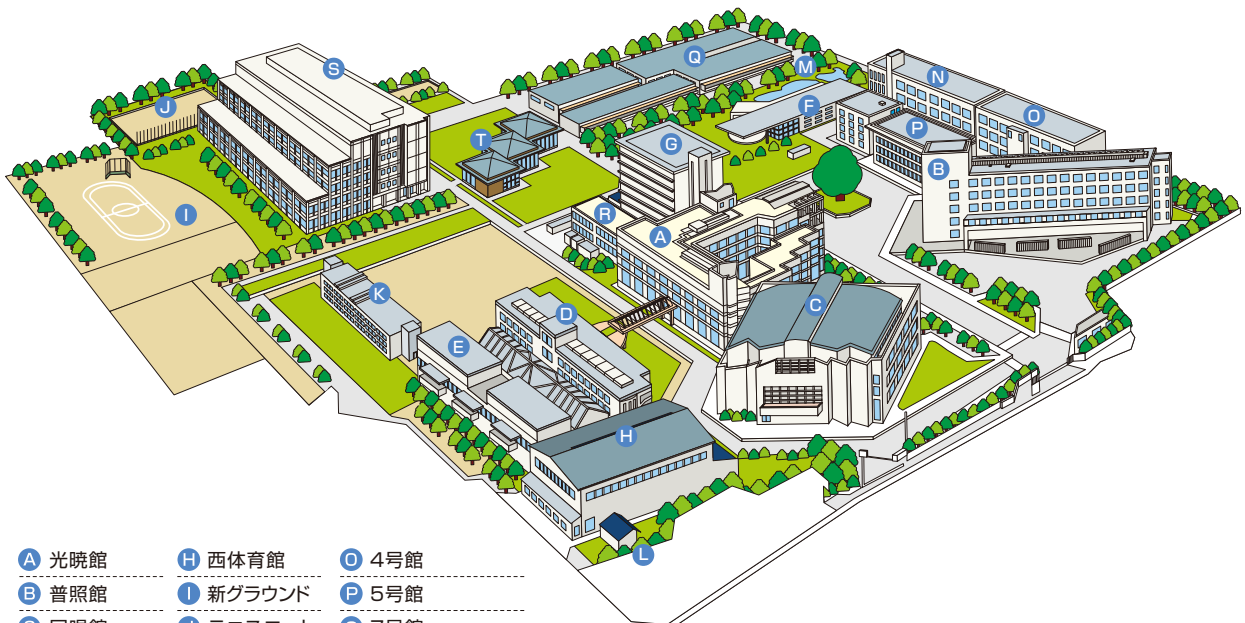
NIE(教育に新聞を)について、学校教育におけるNIEの意義や授業での新聞活用を解説します。また、各教科での新聞活用の仕方・授業の方法などについてのワークショップ・演習を通して、日常の授業実践での新聞の活用方法を探ります。現場の授業にすぐ役立つ内容です。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:30(40分)
<b>学校教育におけるNIEの意義</b> 学校教育におけるNIEの意義、学習指導要領における新聞活用の位置づけについて解説します。また、各教科における代表的な新聞活用例を紹介します。	<b>新聞活用ワークショップ</b> 新聞を活用した授業をワークショップ形式で体験します。グループでディスカッションをしたり、全体で意見交流をしたりします。	<b>新聞を活用した授業づくり・教材作成演習1</b> グループによる協同で新聞を活用した授業づくりと教材作成の演習を行います。グループで教科、単元を設定し、各グループに配布された新聞を使って、教材を作成し、授業の計画を立てます。グループで考えた授業プランは模造紙にまとめます。演習を通して、新聞を授業でどのように活用できるのかを考えます。	<b>新聞を活用した授業づくり・教材作成演習2</b> グループで考えた授業プランを発表し、交流します。各グループの授業プランをもとに、新聞を活用した授業実践のポイントを解説し、日々の授業実践での新聞の活用方法を探ります。	<b>まとめ・修了認定試験</b> 本日の講習を踏まえた論述式の筆記試験を実施します。

### 備考

はさみ、スティックのりをご持参ください。

## キャンパスマップ



- |       |          |             |
|-------|----------|-------------|
| A 光暁館 | H 西体育館   | O 4号館       |
| B 普照館 | I 新グラウンド | P 5号館       |
| C 同唱館 | J テニスコート | Q 7号館       |
| D 常照館 | K 時習館    | R 14号館      |
| E 弘誓館 | L 弓道場    | S 月照館       |
| F 恵光館 | M 尋源池    | T サロン・ド・パドマ |
| G 至道館 | N 1号館    |             |

# 受講に関する注意事項

## 当日受付 について

- ・受講できるのは申込者本人のみです。代理受講はできません。
- ・受講には受講票が必要です。
- ・講習当日は各講習の開始30分前から教室を開場し、受付を開始します。
- ・申し込み後に送付する受講案内に記載されている教室へ直接お越しいただき、受付をお済ませください。
- ・講習は定められた時間数を受講する必要がありますので、遅刻・早退・欠席は認められません。
- ・講習の一部あるいは全部を欠席された場合、修了認定試験を受けることができません。
- ・交通機関の乱れなどにより開始時間を繰り下げることがあります。

## 受講上の 注意

- ・事前に準備物が示されている講習を受講される場合は、各自でご確認の上、当日持参してください。
- ・各講習の終了後、事後評価およびアンケートを実施しますのでご予定ください。
- ・受講中の録音・録画および写真撮影はご遠慮ください。
- ・携帯電話・スマートフォンの電源は必ずお切りいただくか、マナーモードに設定しておいてください。
- ・キャンパス内での喫煙は、指定された場所でのみ可能です。学内の指示に従ってください。
- ・貴重品は各自の責任において管理してください。万が一盗難等の事故が発生した場合も、本学は責任を負いかねます。
- ・講習受講中(会場までの移動を含む)の保険は、受講者の判断により各自ご加入ください。
- ・学内には受講者用駐車場はありません。公共交通機関をご利用になるか近隣有料駐車場をご利用ください。
- ・当日は、原則として学生食堂は営業しておりません。昼食は各自ご用意いただくか近隣の飲食店をご利用ください。なお、昼食をご持参された場合には、教室を昼食場所としてご利用いただけます。

## 講習の休講 について

- ・交通機関の不通と気象警報発表による場合の休講・講習時間の繰り下げ基準は下記の通りです。

対象交通機関	近鉄京都線で向島駅を含む区間	
気象警報発表対象区域	京都府南部	
対象気象警報	警 報：暴風警報、暴風雪警報 特別警報：大雨特別警報、暴風特別警報、 大雪特別警報、暴風雪特別警報	
運行再開の時刻および 警報解除時刻	開始する講習	備考
7:00まで	予定通り実施	運行状況等で講習開始時間に間に合わない場合はご連絡・ご相談ください。
8:00まで	開始時刻を1時間ずらして実施	
9:00まで	開始時刻を2時間ずらして実施	
9:00以降	休講	

- ・「宇治市槇島町」に災害対策基本法に基づく「避難指示」・「警戒区域指定」が発令された場合も対象となります。

## 受講料等

- ・受講料には会場までの交通費、食費、宿泊費は含まれておりません。
- ・やむを得ない事情で受講を辞退される場合には、必ずお電話にてご連絡ください。
- ・講習前日(大学休日を除く前日)17:00までに辞退の申し出があり、所定の手続きを取っていただいた場合は、振込済の受講料を返金します。自己都合による講習当日の受講辞退の申し出については、返金の対象となりません。
- ・返金の際には、1講習につき事務手数料として1,000円を頂戴し、振込済の講習料から差し引いた金額を返金いたします。
- ・返金に際しては、本学所定用紙による申請が必要となります。返還手続を完了するまで日数がかかりますがご了承ください。
- ・入金を確認できる書類(領収書等)は、講習修了まで大切に保管してください。

## 障がいがある 受講者の方へ

- ・障がいがある方や病気等により受講に特別な措置を希望される方は個別にご相談に応じます。必ずお申し込み前にご連絡いただけますようお願いいたします。

## 個人情報保護 について

- ・お預かりします個人情報については、以下の目的に則して利用するとともに、本学の個人情報保護指針に基づき適正な保護に努めます。

利用目的	①応募に関する連絡および送付物発送 ②受講料の納入および管理 ③講習の実施・運営・修了認定 ④各種統計・調査・取組評価 等
------	--

- ・個人情報保護の観点から、講師や他の受講生の連絡先等のお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。
- ・本講習の記録のため、写真やビデオ撮影を行い、ガイドランスやWeb上で利用することがありますので、ご了承ください。
- ・本学の個人情報保護への取組の詳細については、以下のホームページをご覧ください。

〈京都文教大学〉

[http://www.kbu.ac.jp/kbu/intro/privacy\\_policy.html](http://www.kbu.ac.jp/kbu/intro/privacy_policy.html)

## システムに関するFAQ

## Q 電話で申し込みできますか。

→ 電話での申込受付は行っていません。Webからお申し込みください。

## Q 受講者ID、パスワードを忘れました。

→ お手数ですが、再度利用者の登録を行い、IDを取得してください。

## Q 現在勤務先がありません。受講者情報登録画面の「勤務先名」「勤務先電話番号」をどう入力すればいいですか。

→ 「勤務先名」には、勤務予定先か直近で勤務していた勤務先名または講師登録をした教育委員会名を、「勤務先電話番号」にはご自宅あるいは携帯電話の番号を入力してください。

## Q 受講者ID、パスワードを入力してもログインできません。

→ 大文字・小文字と全角・半角の別を正しく入力してください。なお受講者IDは、「19 kbu ●●●●●」です。  
(半角数字)(半角小文字)(半角数字)

## Q 夏期申込時まで取得した受講者IDは使用できますか。

→ 今年度取得されたIDはそのままお使いいただけます。なお、年度ごとにIDが異なりますので昨年度以前の受講者IDはお使いいただけません。新たに今年度のIDをご登録ください。

## 講習に関するFAQ

## Q 更新に必要な時間数を自由に受講してもいいですか。

→ 必修領域及び選択必修領域については、どのような免許状を持っている場合でも、それぞれの領域で開設されている講習の中からそれぞれ6時間以上を満たすよう講習を受講してください。選択領域については、新免許状(2009年4月1日以降に初めて授与された免許状)と旧免許状(2009年3月31日以前に授与された免許状)の場合で扱いが異なりますので、文部科学省HP等で各自でご確認ください。なお、受講が必要な講習数以上のご予約は、他の受講希望者の迷惑となりますのでおやめください。

## Q 1つの大学で30時間分の講習を受講しなくてはいけませんか。

→ 複数の大学でも受講することができます。例えば、「必修」領域の6時間分をA大学、「選択必修」領域の6時間分をB大学、「選択」領域のうち6時間分をC大学、12時間分をD大学で受講することも可能です。もちろん、1つの大学で全ての講習を受講してもかまいません。

## Q 駐車場は利用できますか。

→ 学内には受講者用駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用になるか近隣有料駐車場をご利用ください。ただし、自転車の駐輪場はご利用いただけます。お身体に障がいがある方や怪我をされた方など特別な事情がある場合には、事前にご相談ください。

## Q スクールバスは利用できますか。

→ 原則として講習開催日は、近鉄「向島」駅から本学までのスクールバスを運行しております。ただし、本数が限られますので、時間には余裕を持ってお越しください(スクールバスの時刻表は受講票発送時に同封します)。

## Q 大学の学生食堂は利用できますか。

→ 日程により営業している期間もございますが、学生が集中するため大変混雑いたします。できるだけ、各自で昼食をご持参いただくか、大学近隣の飲食店をご利用ください。

受講資格・講習義務の有無・更新講習修了確認の申請等については、免許管理者へお問い合わせください。

免許管理者は以下の通りです。

●現職教員の方 … 勤務地の都道府県教育委員会 ●現職教員以外の方 … 住所地の都道府県教育委員会

その他ご不明な点は、文部科学省HPまたは免許管理者にてご確認ください。